

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 2 2 回 相模原市地域交通活性化協議会		
事務局 (担当課)		まちづくり推進部 交通政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 9 (直通)		
開催日時		令和 7 年 7 月 1 6 日 (水) 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 0 0 分		
開催場所		相模原市立産業会館 3 階 大研修室		
出席者	委 員	1 7 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 1 人 (交通政策課長、外 1 0 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開会 2 協議事項 (1) 中山間地域における交通再編について (2) 相模原市総合都市交通計画の一部見直しについて (3) 運転士不足対策について 3 その他 4 閉会		

議 事 の 要 旨

1 開 会

2 協議事項

(1) 中山間地域における交通再編について

協議事項について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(岡村会長) 本日の協議をもって協議が調ったことの証明書を発行する予定か。

(事務局) 新規に運行を始める事業者については21条許可となり、自治体からの要請が必要になるため、証明書を発行する。一方、運行範囲追加の場合は、4条で運行している事業者は市域全域で許可を受けてるので証明書は不要である。また、乗降ポイントの追加についても証明書は不要である。

(山崎委員) 定時定路線型での運行も21条許可で実施する予定か。

(事務局) 定時定路線型での運行も予約なしの区域運行の範疇と考えており、同じ21条許可で実施する。

(岡村会長) 証明書の記載事項については本日の協議会の内容とし、書式は事務局に一任する。

(渡邊委員) 運賃について、少しの距離でも900円であるのか。また、複数地区割引とは、別の便に乗り換えたなら割り引かれるということか。その際には、乗り換えた証明書類を発行するのか。更に、900円や500円といった運賃の設定があり全体像が見えづらい。

(事務局) 区域内であれば少しの距離であっても1回乗れば900円である。複数地区割引は、地区を跨いで乗った場合に次の地区の運賃が半額となるものであり、地区を跨ぐかは予約内容で判断する。運賃はまず900円があり、市内在住、在勤、在学の方で登録をしていただくと500円に割り引くというものである。

(宮野委員) 運賃の額は、当初示された額よりも低価格になり、地域の方も高く評価している。

(橋山委員) 予約のない定時定路線型の音久和から三ヶ木までの路線は、途中で運賃区域を跨ぐが、複数地区割引の対象の利用者か否かはどのようにして判断するのか。

(事務局) 1台の車両で連続して運転するため、当該の運転士が判断することになる。

(岡村会長) 複数地区割引は大変複雑な印象である。同時ではなく分けて予約をした場合や、定時定路線型の便から予約型の便に乗り継ぐ場合は割引の対象者か判断できない。複数地区割引は当面、同一車両に乗車して地区を跨ぐ場合のみの割引として、

車両を乗り換える場合の割引は行わないほうがよいかもしれない。

(事務局) 音久和から三ヶ木までの路線や和田からやまなみ温泉までの路線は1台の車両で運行するため、乗車したまま地区を跨ぐケースは十分にあり得る。一方で、それ以外の車両を乗り換えるケースがどれくらいあるのかは検討を要する。

(岡村会長) 運賃協議部会までには検討していただきたい。

(高橋委員) 運賃の支払い方は、現金、アプリから引き落とし、パスモなど車内に設備を設けるもののいずれか。

(事務局) 現行の乗合タクシーは現金の収受のみとしており、10月の実証実験開始時点でも現金のみとなる。IC乗車券などの導入については、今後事業者と調整していく。

(廣野委員) 既存の路線バスを段階的に減便、休止することだが、具体的に減便する路線は決まっているのか。また、利用者数が31人ある時間帯で、8人乗りの車両で4回往復して運ぶとなると、乗りこぼしが発生する懸念がある。

(事務局) 利用者数31人は、ある程度の期間を調査したところでの最大の利用者数であるため、十分に運びきれると考えている。また、予約制なので乗りこぼしは想定していない。

また、減便については、すぐの減便は考えておらず、実証実験の経過を見ながら交通事業者と調整することとなる。例えば、和田方面については、土日は現状どおりの方向で、また、平日は実証実験を踏まえながら検討する。更に、奥牧野から藤野までなどの路線は小中学生が通学で使っているため、通学時間帯については、今年度は維持する方向とし、それ以外の時間帯は今後の調整と考えている。

(橋山委員) 路線バスの段階的な減便であるが、三ヶ木から相模湖までの区間は、実証実験開始のタイミングで減便する予定である。

(岡村会長) 減便については、基本は交通事業者が判断するものであるが、実証実験の検証のためにあえて減便するということも検討してよいかもしれない。

(宮野委員) 既存の路線バスもある中で実証実験の効果を明らかにするために、日によっては既存のバス路線を運行しないなどの方法も検討してみてはどうか。

(事務局) 実証実験開始後すぐに実施はできないが、そういった方法の調整も検討していきたい。

(岡村会長) 調整の経過については協議会で逐次報告をお願いしたい。

(生田委員) 実証実験のダイヤ案では、折り返しの際にすぐ折り返すケースと10分程度の余裕時間のあるケースがあり、どのような理由で異なる設定をしているのか。運転士の疲労回復や道路事情を考慮すると折り返しには最低5分は要するのでは

ないか。

(事務局) すぐ折り返す設定としているケースは、折り返す地点で乗降がほとんどないことを想定しているものである。実証実験では実際にその設定で支障がないか確認する。

(小堤委員) ダイヤについては、パターンダイヤや藤野駅、相模湖駅での鉄道への接続、三ヶ木での乗り継ぎに配慮したものとするといよい。

(事務局) パターンダイヤは利用者にとって分かりやすいものであるなので、今後検討していく。駅や三ヶ木での接続についてもダイヤ調整を検討する。

(生田委員) 風水害など災害時の運行中止の指針は定めているのか。

(事務局) 県道などは連続降雨量など通行止めの判断基準があり、通行止めの場合は運行を中止する。また、現状でも降雪時は交通事業者が現地を確認して判断しており、予約をした方には運行事業者から連絡しているため、実証実験でも同様の扱いとなる。

(結果) 出席委員の全会一致で同意。

(2) 相模原市総合都市交通計画の一部見直しについて

協議事項について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(宮本委員) 連接バスの導入や結節強化については交差点改良や道路拡幅など道路関係の交付金があるが、計画への記載が要件にあるため検討していただきたい。

(事務局) 具体的な取組はまだないが、必要に応じて今後対応させていただきたい。

(結果) 出席委員の全会一致で同意。

(3) 運転士不足対策について

協議事項について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(高橋委員) 運転士を採用して育成しても根付かないで転職してしまうことがあるようである。引き止める方策についても検討したほうがよい。

(生田委員) 外国人運転士は現状どのくらいの人数がいるのか。また、今後の見通しは。

(小堤委員) 外国人運転士は全国でもまだ少数である。特定技能の制度をクリアした人が採用されるが、そのハードルが高い。協会としても漢字テストなどの緩和を求めている状況であり、採用増にはまだまだ時間はかかる見通しである。

(結果) 出席委員の全会一致で同意。

3 その他

事務局より次回以降の協議会開催スケジュールについて報告した。

4 閉会

以 上

相模原市地域交通活性化協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	岡村 敏之	東洋大学 国際学部 国際地域学科 教授		出席
2	梶田 佳孝	東海大学 建築都市学部 土木工学科 教授		欠席
3	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会 常務理事		出席
4	大畠 雄作	一般社団法人神奈川県タクシー協会 相模支部 常任理事		欠席
5	吉田 忠司	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社 企画総務部 企画部長		欠席
6	宇野 弘之	東日本旅客鉄道株式会社八王子支社 企画部長	代理出席 企画総務部 経営戦略ユニット 主任 名取 弘登	出席
7	宮原 賢一	小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 交通企画部 部長		出席
8	濁澤 雅	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 計画管理部 計画担当 課長		欠席
9	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画担当 課長		出席
10	三浦 裕介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部 乗合事業担当 課長	代理出席 課長補佐 小出 満	出席
11	米山 淳	富士急バス株式会社 業務部次長		出席
12	青山 琢人	国土交通省関東地方整備局 建政部 都市整備課長		欠席
13	宮本 雄一	国土交通省関東地方整備局 相武国道事務所長		出席
14	加納 光博	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)	代理出席 運輸企画専門官 (輸送担当) 山崎 祥斗	出席
15	馬場 広人	神奈川県警察本部 交通部交通規制課 都市交通対策室長		欠席

16	廣野 修一	神奈川県 県土整備局 都市部 交通政策課 副課長		出席
17	高橋 和彦	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 事務局次長		出席
18	宮野 善三郎	相模原市自治会連合会 副会長		出席
19	布施 昭愛	相模原商工会議所 理事 事務局長		欠席
20	小林 輝明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 常務理事		欠席
21	石原 朗	公益社団法人相模原市観光協会 専務理事		出席
22	生田 修	公募市民		出席
23	渡邊 亨	公募市民		出席
24	杉浦 篤	相模原市 都市建設局 土木部長		出席
25	廣田 信之	相模原市 都市建設局 まちづくり推進部長		出席